

中播磨

Wa' Wa' Wa'

編集・発行
姫路市北条1-98 姫路総合庁舎
兵庫県中播磨消費者センター

しんぶんを通して、人のWa'・平和のWa'・話のWa'など限りないWa'に出会いたい…そんなWa'を伝えていきます。
(生活創造応援隊 一同)

はりまの銘品 No. 3・くさり



も く じ

特集 ぶら〜り町歩き	
姫路の鎖づくり (衣川製鎖工業(株))	P2
グループ紹介	P3
消費生活情報	P3
センター・グループからのお知らせ	P4

版の会 高野 雅一

イーグレ姫路3F で開催の「姫路物産展」を見て来ました。鎖の名称で使われている種類の多さに驚きです。鎖のリング太さが、私の腕より太いものから、細い細いイヤリングとの差を、作品に表現できるのだろうか・・・と考えるほど心配が増し、とても悩みました。

ぶら〜り町歩き

中播磨の行ってみたいこんなところをご紹介

姫路の鎖づくり

～衣川製鎖工業（株）を訪ねて～



現在の国道250号線沿いにある中島南通りの遺跡から室町時代の漁村で使われていた青磁や備前焼の土片と共に大きな漁具用の錘が発掘されたことから、鍛冶屋がこの地で農具用の道具を作っていたのではないかと推察されています。

明治の終わり頃、姫路市白浜町出身の瀬川氏が大阪で鎖製造所を創業され、第一次世界大戦の影響で大正3年頃から鎖の需要が急増してきたことを受け、大阪製造所で野鍛冶（のかじ）など鍛冶技術をもった人が姫路の木場の地に多く集まってきました。大戦終了後も姫路で各自が独立して製造する業者が順次増え、製造する鎖の種類も多様化していったことから姫路が鎖の産地となっていたのではないかとされています。

私たちが取材させていただいた衣川製鎖工業株式会社は、昭和10年に創業され、現在は2代目の社長さんとお聞きしています。

工場の前には大きな鎖のようなものや大きな機械が、何を作られているのかよく分からないのですが、大きな音を立てて動いていました。今は、製鎖の多くが中国などから安価に輸入されているので、単なる鎖だけでなく、以前とは異なった日本独特の製法で作られた貴重な製品が製造されているということです。例えば、身近なものとして簡単に取り外すことのできない盗難防止用の特殊な鎖などで、あまり他では製造できないものだそうです。

衣川社長さんは、鉄を加工する仕事に45年情熱を燃やされ、「夢をつなぐ 心をつなぐ 世界をつなぐ」をキャッチフレーズに「鉄のふしぎ博物館」を平成21年（2009年）7月に開設され、砂鉄など多くの鉄に関するものが、いろいろなところから収集され展示されていました。夏休みには小学生の見学日を設けたり、また地域の小学校と連携したりして、多くの人に公開されています。私達も博物館に招待され、社長さんのやさしい笑みのこぼれた情熱いっぱいのお話を聞きながら、身近に砂鉄や鉄の不思議に触れさせていただき、多くの感動をいただきました。また最後には童心に返って、磁石を使ったワニを作らせてもらい、楽しいひとときを過ごさせていただき、子どもや孫のおみやげとして持って帰りました。

衣川社長さんには、お忙しい中、長時間にわたり楽しいお話を聞かせていただき、ありがとうございました。社長さんが、子どもの時から持たれていた「なぜ？」「なんで??」ということ私達も大切に前向きに取り組んでいきたいと思います。



【生活創造応援隊】

植原 邦子

田路 和子

♪グループ紹介♪

ひまわりサロン網干

ひきこもり。この言葉を聞いたことがあると思います。ひきこもりの若者達の居場所づくりをしていました。放置された田畑を借り、土いじりを始めました。始めた頃は、小さな畑でしたが、周りの田畑の持ち主にお問い合わせ、今では1haにもなりました。ひきこもっていた若者達で、2年前に就労継続支援B型事業所を開設しました。毎日決まった時間に来る、これがなかなか難しいことです。皆、何らかの原因で引きこもっていたのが、いきなり社会では怖いと言います。そんな若者達が、今では毎日草抜き、水やりと忙しくやっています。自信を無くしていた若者達が、自分を取り戻し、夢を持って生きていく。

今、兵庫県から都市農業発揮モデル事業をいただくに至りました。ひとつの田を皆で果樹園に変えています。なかなか思うように自然が言うことを聞いてくれません。でも、若者達には夢が芽生えてきたように見えます。そんな中、2018年授産施設のお菓子コンクールに野菜サブレを出品し、見事銀賞をいただきました。次は金賞をいただきたいと色々と考えています。

農福連携。国が農業と福祉をコラボさせようと考えています。障害のある人達には、太陽のもとで人に使われるのではなく自然に使われる、リハビリにもいいとされています。雨が降り、風が吹く、暑い日があれば寒い日がある。分かっているようですが、理解しにくいようです。自分で種をまき、水をやる。芽が出て作物になり、収穫をして、それを口に入れて食べる。自給自足も出来ます。誰に怒られるのでもなく自分に怒られる、水をやるのをやめると枯れてしまいます。こんな活動をしています。



ひまわりサロン網干

代表 阪本 光夫

携帯: [REDACTED]

消費生活情報 ～くらしに役立つ情報をお届けします～

貴金属の訪問買い取りにご注意！

「古着を買い取る」と電話があり業者が自宅を訪問。
「貴金属はないか」と言うので指輪などを見せたところ、勝手に査定され代金を渡された。大切な指輪なので返して欲しい。



消費者へのアドバイス

不要になった衣類や靴などの買い取りをきっかけに自宅に上がり込み、貴金属を安く買い取られるという相談が多く寄せられています。これは『訪問購入』と言い、特定商取引法で規制されています。

1. 突然訪問してきた業者は家に入れないようにしましょう。
2. 買い取りを承諾していない貴金属の売却を迫られたら、きっぱり断りましょう。
3. 業者から交付された書面はしっかり確認しましょう。
4. 一度物品を引き渡すと取り返すことが困難な場合がありますので、契約後もクーリング・オフ期間(8日間)内は手元に物品を置いておきましょう。



消費者ホットライン ☎ 188 (いやや!)



お近くの消費生活センター等につながります。

消費生活セミナー 受講者募集！！**受講料 無料**

健康長寿大国の日本！人生100歳時代を迎え、長い人生を楽しく元気に生きるために、今のうちから準備をしておくことは大切です。相続がスムーズに執り行われるように、生前の想いや情報を整理してまとめておきましょう。

そして何よりも大切なことは、「こころ」です。家族のこころの中で、いつまでも生き続けるために、想いを遺すことです。

そういった人生最後の役割について、ファイナンシャル・プランナーの視点からお話をうかがいます。奮ってご参加ください。

日 時：平成31年1月18日(金) 13:30～

場 所：姫路総合庁舎 職員福利センター
3F大会議室

テーマ：想いと情報を遺す、エンディングノート！
～人生最後の役割として家族に遺すものとは～

講 師：CFP® ファイナンシャル・プランナー 下村 啓介 氏

定 員：50名

主 催：中播磨県民センター、NPO 法人 日本FP協会 兵庫支部

**【問合せ・申込み先】**

中播磨県民センター

県民課（消費者センター）

担当：河本、丸山

TEL：[REDACTED]

FAX：[REDACTED]

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」 川柳コンテスト 募集！

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」への興味・関心を一層高める契機とするとともに、沿線の魅力を地域内外に発信するために、川柳コンテストを実施しています。

【テーマ】日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」

【作品内容】・毎日の暮らしの中での「銀の馬車道・鉱石の道」とのかかわりやエピソードも可
・自作品で未発表のもの
・1人3句まで応募できます

【応募締切】平成30年12月21日(金) 必着

【応募方法】FAX、郵送またはメール（詳細はHPをご覧ください）

【その他】最優秀賞（1点）、優秀賞（2点）、審査員特別賞（数点）には賞状と賞金が授与されます。



～主催～ 銀の馬車道ネットワーク協議会

〒670-0947 姫路市北条 1-98 兵庫県中播磨県民センター県民交流室 産業観光課内

TEL：[REDACTED]、FAX：[REDACTED]、メールアドレス：[REDACTED]

兵庫県中播磨県民センター 県民交流室 県民課（消費者センター）

〒670-0947 姫路市北条1-98 兵庫県姫路総合庁舎2階

【電話】[REDACTED] 【FAX】[REDACTED]

【Eメール】[REDACTED]

【消費生活相談】消費者ホットライン 188 *最寄りの消費生活相談窓口につながります。

【ホームページ】[REDACTED]

